

神の主権、

人類の歴史の中にある神聖な歴史、

世界情勢と神の回復を広める神の行動

聖書：啓 4:11. 5:13. 哀 5:19. ヨエル 1:4. 3:11. 使徒 17:26. マタイ 24:14

I. わたしたちが神の主権についてのビジョンを見て、神の主権についてははっきりとした見方と正しい理解を持つことは、極めて重要です——啓 4:2. 5:1. ダニエル 4:1-3, 34-35. ローマ 9:19-23 :

- A. 主権とは、神の完全で無限の権利、権威、能力、地位を指しています——啓 4:11. 5:13。
- B. 神は主権ある方として、あらゆるものの上に、あらゆるものの背後に、あらゆるものの中におられます——列王上 22:19。
- C. 神は完全な能力を持っており、彼の心の願いにしたがって、また彼の永遠のエコノミーにしたがって、彼の求めているものを完成します——エペソ 1:4-5, 10. ダニエル 4:35。
- D. わたしたちはエレミヤのように、わたしたちの立場と角度を変えて自分自身から神へと向きを変え、また神の永遠の存在と彼の永遠で変わることのない統治とを認識する必要があります——哀 5:19。
- E. 啓示録という書は、神の行政の書であり、全宇宙における神聖な行政のための神の御座を明らかにしています——啓 4:2. 5:1. 6:16. 7:9. 8:3. 21:5。
- F. ローマ第9章 19 節から 23 節は、神の主権を述べています：
 - 1. わたしたちは、わたしたちが神の被造物であり、神がわたしたちの創造主であることを認識する必要があります。わたしたちは彼の被造物として、彼の定められた御旨に抵抗したり、創造主である彼に口答えしたりすべきではありません——ローマ 9:19 後半-21. エレミヤ 18:1-6。
 - 2. ローマ第9章 22 節から 23 節が啓示しているのは、神があらかじめ定めることにしたがって、主権をもってわたしたちを造り、彼の器、彼の容器とならせたということです——II テモテ 2:20-21。
 - 3. 神は彼の主権において権威を持っており、彼が選び召した者たちを、あわれみの器とならせて、彼を内容とするようにさせました。それは、彼の栄光が現されるためです——ローマ 9:23。

II. 聖書が啓示しているのは、神のエコノミーにしたがった宇宙の歴史、すなわち、人類の歴史の中にある神聖な歴史です——ヨエル 1:4. 3:11. ダニエル 2:31-45. エペソ 1:3-6. ミカ 5:2. 啓 19:7-9. 22:17 前半 :

- A. この宇宙には、二つの歴史があります。すなわち、人の歴史（人類の歴史）と神の歴史（神聖な歴史）です。前者は、外側の殻のようなものであり、後者は、殻の内側の核のようなものです。
- B. 人の間での神の行動は、人類の歴史の過程と関係があります。
- C. 小預言書では、人類の歴史は、ヨエル書第1章4節の四種類のいなごによって説明

され、表徴されており、神聖な歴史は、第3章11節のキリストと彼の勇士たち、すなわち、勝利者たちと共にあります。

D. 人類の歴史の中にある神聖な歴史は、聖書の中でかなり詳細にわたって啓示されています——エペソ 3:9-10, 1:10, 使徒 2:23, IIテサロニケ 2:2-8, ダニエル 2:35, 44, 7:22, 27, 啓 11:15。

E. 神聖な歴史、すなわち、人の中での神の歴史は、キリストが肉体と成ったことから彼の昇天を経過して、命を与える霊と成り、それから、彼がわたしたちに内住することをもって継続し、神の有機的な救いを通して、わたしたちをキリストの花嫁とさせることです——ヨハネ 1:14, Iコリント 15:45 後半, 6:17, ローマ 5:10, エペソ 5:27, 啓 19:7-9, 22:17 前半。

F. わたしたちは、人類の歴史の中で生まれました。しかし、わたしたちは神聖な歴史の中で再び生まれ、再生されました。今わたしたちは、自分が神聖な歴史の中で生きているのか、それとも単に人類の歴史の中で生きているだけなのかを、考慮する必要があります——ヨハネ 3:3, 5-6, 1:1-13 :

1. もしわたしたちの生活がこの世の中にあるなら、わたしたちは単に人類の歴史の中で生きているだけです。

2. もしわたしたちが召会の中で生きているなら、わたしたちは神聖な歴史の中で生きています。なぜなら、召会生活の中では、神の歴史はわたしたちの歴史であり、このゆえに、わたしたちと神は一つの歴史、すなわち、神聖な歴史を持つからです——Iコリント 6:17, ローマ 6:6, ガラテヤ 2:20。

III. 世界の歴史上の出来事は、神によって主権をもって案配されており、それは神が彼の定められた御旨を完成するためです——使徒 17:26, ローマ 8:28, IIテモテ 1:9 :

A. わたしたちはみな、はっきりとした見方を持って、そこから世界情勢を考慮する必要があります——エペソ 3:11。

B. 世界情勢は、神の主権ある案配の下にあります。神は、予定された時季と境界を定めました——使徒 17:26。

C. 神は彼の定められた御旨を完成するために、世界情勢を案配しています。わたしたちがこの事を認識するとき、歴史は意義深いものとなります——エペソ 3:9, ダニエル 2:20-21, 4:2-3, 25-26, 34-35。

D. 人類の歴史上のすべての主要な出来事は、地上における神の行動と一致します。

E. 召会は人類から出てくるので、神の選ばれた者たちであるわたしたちは、歴史に対するこのような観点を持つ必要があります。ですから、わたしたちは正しい召会生活を持つために、世界情勢を知らなければなりません——Iテサロニケ 1:1, Iコリント 1:2。

F. わたしたちが、神が肉体と成ることや、福音の開展や、召会生活を起こすことや、花嫁を用意することについて語ろうとも、世界情勢に関する限り、神の行動のこれらすべての面は、適切な環境を必要とします :

1. キリストの務めが完成されるためには、ローマ帝国が設立されて環境が整えられ、その中で贖いが完成され、また福音が広められることができるようにする必要があります——ルカ 2:1-7, ヨハネ 19:17-21。

2. ローマ帝国は福音のためでした。ドイツは宗教改革のためでした。大英帝国は福音と真理を広めるためでした。今や、米国は回復の中心となっており、そこから回復はすべての大陸へと広がることができます。
 3. 神は米国を用いて、彼の回復を広めます。それは、主が戻って来るためです——啓 22:20. 11:15。
- G. もしわたしたちが今日の地上で起こっている最新の事に留意するなら、神が米国の指導の下で世界情勢のすべてを支配し、彼の回復を広めていることを、わたしたちは認識するでしょう——マタイ 24:14. 28:18-20。
- H. わたしたちは、世界情勢に対する神の主権ある案配をさらに意識し、わたしたちの生きている重要な時期についてさらに関心を持ち、現在の世界情勢における神の行動のためにさらに負担を持つ必要があります——6:33。